

2019 世界選手権代表選考プレーオフ

大逆転 熱戦を制す 攻めを貫く

最後まで勝ちにこだわり

最後まで攻めを貫く



男子フリースタイル 74Kg
おくい ま お
奥井眞生 2等陸曹



女子フリースタイル 50Kg
いりえ
入江ゆき 2等陸尉

世界選手権出場決定

7月6日(土)、埼玉県和光市総合体育館で世界選手権代表選考プレーオフが行われた。今回のプレーオフは、昨年12月の天皇杯優勝者と今年6月の明治杯優勝者が9月に行われる世界選手権(カザフスタン)の代表権をかけて争った。自衛隊体育学校からは、代表未確定階級6階級中4階級に挑み、男子フリースタイル 74Kg 級奥井眞生 2陸曹、女子フリースタイル 50Kg 級入江ゆき 2陸尉の2名が世界選手権代表を掴んだ。

すでに昨年12月の天皇杯と6月の明治杯優勝により世界選手権代表を掴んでいる男子フリースタイル 97Kg 級赤熊猶弥 2陸尉、男子グレコローマンスタイル 87Kg 級角雅人 3陸曹に続き、今プレーオフで奥井眞生 2陸曹、入江ゆき 2陸尉の4名が世界選手権へ挑むこととなる。今年度の世界選手権で3位以内に入ればオリンピック出場が内定する。



勝利後の奥井2曹

74Kg Freestyle フリースタイル

終了5秒前の大逆転勝利

奥井2曹(明治杯優勝)は藤波勇飛選手(天皇杯優勝:ジャパンビバレッジ所属)を5-4で破り初の日本代表入りを決めた。藤波選手は2017世界選手権銅メダリストで、奥井2曹は過去3度対戦し1勝2敗と負け越している。

試合はお互いの攻めの姿勢で熱戦となり、第1ピリオドは1-0で藤波選手が僅かにリードする展開。第2ピリオドで一時4-1と藤波選手がリードを広げたが、奥井2曹は終始果敢に攻め続け、残り5秒でポイントを取り逆転し最終5-4で勝利した。試合後奥井2曹は、「ここで勝たなければ意味がない。勝ちというのに執着してやってきて、勝ちきれて本当に良かった。」と語った。

50Kg Freestyle women フリースタイル

悲願の世界選手権代表

入江2尉(天皇杯優勝)は須崎優衣選手(明治杯優勝:早稲田大学在学)に6-1という大量ポイント差で試合を決め勝利した。須崎選手は昨年このプレーオフを戦い、入江2尉に勝利して2018世界選手権金メダリストになった選手だが、今年に入江2尉が雪辱を果たし、悲願の世界選手権の初切符を手にした。

試合は第1ピリオド開始120秒に入江2尉のタックルがきまり2-1とリードする。その勢いのまま第2ピリオド開始から入江2尉が攻めのタックルを仕掛け、最終6-1となり勝利した。試合後入江2尉は「まだオリンピックが決まったわけではない。うれしいけれど、初めての世界選手権なのでしっかり準備していきたい。」と語った。



試合後の小原コーチ(左)と入江2尉(右)

125Kg Freestyle フリースタイル

山本泰輝 2陸曹(明治杯優勝)は荒木田進謙選手(天皇杯優勝:athletic camp LION所属)との対戦となった。序盤から荒木田選手に主導権を握られ、果敢にタックルするも決まらず4-1と敗れた。



タックルに入る山本2曹

77Kg Greco-Roman style グレコローマンスタイル

小路直頌 3陸曹(天皇杯優勝)は屋比久翔平選手(明治杯優勝:ALSOK)との対戦となった。2年連続世界選手権出場の屋比久選手に終始自分のペースを作ることができずテクニカルフォール(9-0)で敗戦した。



チャンスを狙う小路3曹

世界選手権日本代表選手



赤熊猶弥
2陸尉
97Kg Freestyle
フリースタイル



奥井眞生
2陸曹
74Kg Freestyle
フリースタイル



角 雅人
3陸曹
87Kg Greco-Roman style
グレコローマンスタイル



入江ゆき
2陸尉
50Kg Freestyle woman
フリースタイル

